ユーザーズマニュアル

ver. 1.3 J

iAUDIO F2

COWON製品をご購入いただきありがとうございます。

いつもお客様にDigital Prideをご提供できるよう最善を尽くします。
本マニュアルには製品の使用方法および注意事項が含まれています。
マニュアルの内容を熟知のうえ製品をご使用になりますと、デジタルライフをより楽しむことができます。

ホームページの紹介

- 製品関連のホームページは http://www.cowonjapan.com です。
- ホームページでは様々なコウォン製品の最新情報と最新技術が適用されたファームウェアおよび有用なソフトウェアなどをダウンロードすることができます。
- 初めてご使用になるお客さまのために、別途FAQおよびQ＆Aを提供しています。(ホームページ内のQ&Aのご利用には無料の会員登録が必要です)
- ホームページにて会員登録された後、パッケージに同封されたCD-Keyと製品裏面にあるシリアル番号を使用し、製品登録をされますと正会員に昇級します。
- CD-Key及びシリアル番号は理由の如何に拘わらず再発行されませんので、製品購入後直ちに登録されることをお奨めします。
- 会員に登録されますと、当社が提供する1:1お問い合わせによるオンライン相談サービスおよび様々な最新情報やイベントのお知らせをご利用いただけます。

一般

- COWONは(株)コウォンシステムの登録商標です。
- 本製品は家庭用であり、業務用として利用することはできません。
- 本マニュアルは(株)コウォンシステムがすべての著作権を所有しており、本マニュアルの一部分または全部を無断配布することは一切禁止されています。
- JetShell、jetAudioの変換機能を利用して生成したファイルを個人的な用途以外に商業的に使用したり、サービスの目的で使用することは著作権法に抵触する行為です。
- (株)コウォンシステムはレコード/ビデオ/ゲーム関連法令を遵守しています。これ以外の一切の成文化された関係法令を遵守することは実際のユーザーの責任です。
- 本マニュアルに記載された各種の操作説明および図表、写真は予告なしに変更されることがあります。
- 本マニュアルに表示された製品の機能または規格は、性能向上のために予告なしに変更されることがあります。

BBE関連

- BBE Sound、Inc.のライセンスにより生産されます。
- USP4638258、5510752 および 5736897 により BBE Sound、Inc. がライセンス権を保有しています。
- BBE および BBE のシンボルは BBE Sound、Inc. の登録商標です。

目次

iAUDIO F2

製品使用時の注意事項

- ユーザーズマニュアルに記載されている内容以外の他の目的で製品を使用しないで下さい。
- 製品包装箱、ユーザーズマニュアル、付属品を扱われる際に怪我をしないようにご注意下さい。
- 運転(自転車、自動車、オートバイなど)中や運動、歩行中にはイヤホンを使用しないで下さい。思わぬ事故の原因となる恐れがあります。また、地域によっては法律で禁止されているところもあります。
- 機器を水の中に落としたり、湿気の多いところに長時間保管しないで下さい。水没による障害の場合、無償のアフターサービスを受けることができませんし、機器自体の使用が全く不可能になる場合もあります。
- 機器を任意に分解または改造した時は、無償サービスを受けることはできません。
- USBケーブルの使用時、挿入方向に注意して下さい。USBケーブルを逆に挿入した場合、パソコンや機器の破損の恐れがあります。またUSBケーブルを無理に曲げたり重い物を載せた状態で利用することは避けて下さい。
- 機機器に強い衝撃を与えないで下さい。ご利用中に機器が焦げる臭いがしたり、高熱が発生した場合は、リセットを押して製品の動作を中止した後、当社のホームページ(www.cowonjapan.com)またはサポートセンターにお問い合わせ下さい。
- 濡れた手で機器を扱った場合、誤動作することがあります。
- ボリュームを上げた状態で長時間聴取した場合、聴力に問題が発生する恐れがありますので、特にご注意下さい。85dB以上の大きな音に長時間さらされると、深刻な聴力の低下をもたらす恐れがあります。
- 暗い所で長時間画面を見ると、目の疲労度が増加する恐れがありますので、視力保護のためにできるだけ明るい所でご使用下さい。
- 製品を利用する際、静電気の発生が激しいところは避けて下さい。誤動作を起こすことがあります。
- 製品の修理サービスを依頼する場合、必ず事前に機器に保存されたすべてのデータをバックアップして下さい。修理中に機器に保存されたすべてのデータが削除されることがあります。アフターサービスの際、機器の中に保存されたデータを消失したことに関しては責任を負いません。
- ACアダプタとUSBケーブルは必ずコウォンで提供する純正部品のみをご利用下さい。
- 雷や稲妻が走る天気には、落雷および火災の危険がありますので、必ずパソコンおよびACアダプタのコンセントを抜いて下さい。
- 製品を保管する際は、高温の場所や寒いところはできる限り避けて下さい。外観の変形や製品内部の損傷、液晶表示の誤動作を起こすことがあります。
- 本商品を携帯用データ保存媒体としてご使用になる場合、万一に備えて重要なデータは必ずバックアップされることをお奨めいたします。データが消失した場合、弊社はこれに対する責任を負いません。
- 本製品は状況により予期されない大幅な価格の変動が起こることがありますが、この場合に価格補償は行われません。

iAUDIO F2とは?

㈱コウォンシステムで製造生産するマルチメディアプレーヤーの固有ブランドで、MP3ファイルを含む多数のマルチメディア音声ファイルおよび動画の再生機能、FMラジオ聴取/録音機能、内蔵マイクまたはラインイン入力端子を通したレコーディング、テキストおよびイメージビューアをサポートする小型ポータブルデジタルオーディオ機器です。

携帯に便利な洗練された感覚の小型デザイン

iAUDIO F2は34.8 X 72.9 X 16.7 mmの小型デザインで携帯に便利です。

リチウムポリマー充電池を内蔵し、最大22時間連続再生

節電回路を使用することにより、満充電後最大22時間の連続再生が可能です。(COWON社テスト環境基準による)

強力な音楽フォーマットのサポート

MP3、OGG、WMA、WAVはもちろん、無損失圧縮コーデックであるFLACをサポートします。

動画再生

jetAudio VXを利用して、最大毎秒15フレームの動画に簡単に変換および転送が可能です。転送された動画ファイルはiAUDIO F2で再生できます。

便利なテキストおよびイメージビューア

テキストファイルおよびイメージファイルを簡単にiAUDIO F2で見ることができます。テキストファイルの場合、音楽を聞きながら見ることができます。

ボイスレコーディング(音声録音)

内蔵マイクを利用して、音声録音(ボイスレコーディング)が可能です。この機能を利用して簡単な会議や講義などを録音できます。

ダイレクトエンコーディング (Line-in録音)

外部音響機器からの出力を受けて、1:1録音できるダイレクトエンコーディング機能を提供します。この機能はLine-In端子と外部音響機器の出力端子をラインインケーブルに接続して録音することを意味します。この機能を利用すればカセットテープ、MD (mini disk)、レコード版(LP)、TVなどの音響機器から直接音声を iAUDIO F2に録音できます。

FMラジオの聴取/録音

FMラジオの聴取ができ、聞いている放送を録音(予約録音を含む)することができます。特にこの機能は語学勉強に活用できます。そして受信周波数をチャンネル番号として保存できるプリセット(Preset)機能を提供します。

広くて華麗なColor LCD

128x160ドット、10ライン、26万カラーTFT-LCDを搭載することにより、一目で機器の全般的な動作状態を確認することができます。

全世界が認めた最強の音場

全世界が認めたiAUDIOだけの強力かつ繊細な最強のサウンドをお聞かせします。下記のすべての音場効果を利用することができます。
BBE : 音楽を鮮明にする音場効果
Mach3Bass : 超低域を強調するベースブースター
MP Enhanceは失われた音域を補償してくれる音場効果です。
3D Surround : 立体音響

ファームウェアのアップグレードで常に新しく

ファームウェアのアップグレード機能を利用して性能を向上させることができます。非定期的にファームウェアを提供し、ユーザーからの提案を積極的にサポートします。

リムーバブルディスク機能

USBケーブルで接続すればリムーバブルディスクとして直ちに認識されます。これからは、別途、小容量USBドライブは必要ありません。

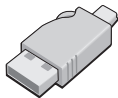
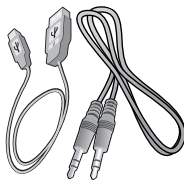
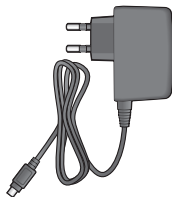
jetAudioの提供

世界的な統合マルチメディア再生ソフトウェアであるjetAudio Basic VXを提供します。追加のプログラムなしにjetAudioの変換ツールを利用して、簡単に iAUDIO F2用の動画および音楽の変換が可能です。

2.パッケージの構成品

iAUDIO F2

クイックガイド
インストール
CD(JetShell、JetAudio、オンラインユーザーズマニュアル)

イヤホン

USB接続ジャック

USBケーブル、Line-in録音ケーブル

電源アダプタ(別売)

3.機能および仕様

- MP3、OGG、WMA、ASF、FLAC、WAV、動画再生、FMラジオの聴取および録音、音声録音、Line-In録音
- TXT(テキスト)、JPEG(イメージ)ファイル ビューア(イメージ拡大、壁紙の指定)
- フラッシュメモリ内蔵(1GB/2GB)
- USB 2.0 インターフェース
- 260,000色表示1.3インチTFT LCD、解像度 128x160
- 長時間再生 : 最大22時間再生(COWON社テスト基準、LCD利用時は再生時間が減少することがあります。)
- 多国語表示のサポート
- 向上した統合ファイル検索モード
- 再生/一時停止、録音/録音中の一時停止
- 次の曲/前の曲、早送り/巻き戻し、区間無限リピート
- 再スタート(Resume)、フェードイン(Fade In)、自動再生(Auto Play)機能のサポート
- 検索速度、スキップ間隔(Skip)速度の設定
- 40段階のデジタルボリューム調節
- さまざまなEQおよび音場効果
  - ユーザーカスタマイズ可能な5バンドEQ
  - ノーマル、ロック、ポップ、ジャズ、クラシック、ボーカル、User
  - BBE、Mach3Bass、MP Enhance、3D Surround
- 時計、アラーム、予約録音、スリープタイマー、自動電源オフ
- LCD自動オフ、スクリーンセーバー
- 簡単なファームウェアダウンロードおよびアップグレード
- ID3 Tag(v 1.1)、Filename(ファイル名)表示サポート
- 機器情報の確認(ファームウェアバージョン、全体容量、残り容量)
- MAC OS(10.X)およびLinux(v2.2以上)USBデータ転送サポート

■ 付属ソフトウェア

- JetShell (ファイル転送、MP3/WMA/WAV/音楽CDの再生)
- jetAudio VX (統合マルチメディア再生ソフトウェア、音楽/動画変換機能)

ファイルサポート	MP3 : MPEG 1/2/2.5 Layer 3、～320Kbps、～48KHz、mono/stereo WMA : ～256Kbps、～48KHz、mono/stereo OGG : ～Q10、～44.1KHz、mono/stereo FLAC : Compression Level 0～8、～44.1KHz、mono/stereo WAV : ～48KHz、16bit、mono/stereo Video File up to 160*128 JPEG(プログレッシブJPG を除く) TXT (シフトJIS)
内蔵メモリ	1GB, 2GB
搭載インターフェース	USB 2.0 High Speed
ファイル転送速度	最大35Mbps (アップロード時最大40Mbps)
電源	内蔵リチウムポリマー充電池 (最大22時間再生、COWON社テスト環境基準)
充電時間	約3時間 (USB、ACアダプタ共に)
ボタン	9ボタン(MENU、OK、POPUP、REC、REW、PLAY、FF、VOL-、VOL+)、 POWERとHOLDスイッチ
表示	128x160ドット、10ライン、26万カラーTFT LCD
SNR	95dB (A-Weighted)
出力周波数	20Hz~20KHz
出力	30mW + 30mW (16Ωイヤホン使用時)
寸法	34.8 X 72.9 X 16.7 mm (幅x高さx奥行き)
重量	39g (リチウムポリマー充電池含む)

4.各部の名称

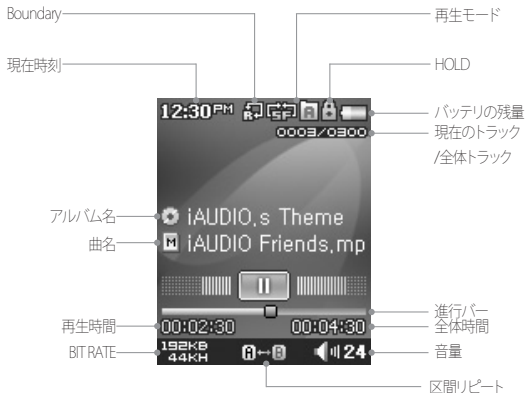
上面
ラインイン端子
イヤホンジャック

左側
DIGITAL AUDIO PLAYER

正面
LCDディスプレイ
MIC
COWON
VOL+
Play/Stop
REC
◀◀ (REW)
▶▶(FF)
MENU
Popup
OK
Select
VOL-

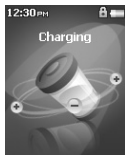
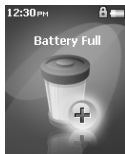
右側
Power/HOLD
Reset
RESET
下面
iAUDIO F2
1GB
www.cowon.com
Designed by COWON / Made in China
Tested to comply with FCC Standard
BBE Mach3Bass

後面
USB
USB接続端子

5.LCD表示による状態要約

バッテリーの残量アイコンは、バッテリーの使用可能時間を表示します。バッテリーの消耗に応じて残量のサイズが減ります。一部のバッテリー/充電池の場合、残量を測定(センシング)するとき、残量アイコンが不規則に増減することがありますが、これは正常な現象です。

バッテリーの残量がほぼなくなると、アイコンが点滅を始めます。点滅を始めてから約30分間動作した後、自動的に電源が切れます。

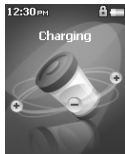
6.ACアダプタによる充電

1. ACアダプタをコンセントとiAUDIO F2のUSB端子に接続します。

2. 接続の際、自動的に電源が入り同時に充電が始まります。

3. 充電が完了するとLCDに次のような画像が表示されます。

-初めてのご使用の際や長期間使用しなかった場合は、必ずACアダプタで十分に充電をした後ご使用下さい。
-使用上の安全のため、必ず純正品ACアダプタのみご利用下さい。
-純正品のACアダプタはAC100V専用で別売です。

7.パソコンによる充電

1. 付属のUSBケーブルでiAUDIO F2のUSB端子とパソコンを接続します。

2. 正しく接続された場合、LCDに次のような画像が表示され、同時に充電されます。

3. パソコンで「ハードウェアの安全な取り外し」をした場合、充電状態を確認できます。

-初めてのご使用の際や長期間使用しなかった場合は、パソコンに十分な時間接続して充電をした後にご使用下さい。
-USBハブを利用した場合、USB電源を利用した充電はサポートされません。必ずパソコン本体背面のUSBポートに直接接続するようお願います。
-「ハードウェアの安全な取り外し」の方法は【パソコンとの接続およびファイル保存】を参考にして下さい。
-Windows 98SEでは「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンが表示されないことがあります。
-旧型のノートパソコンやPCカードタイプの増設されたUSB端子では、供給電力が十分でないために、充電完了までに時間が掛かる場合や、パソコンの動作が不安定になることがあります。

8. Windows 98SE ドライバのインストール

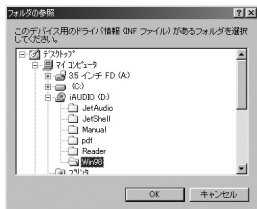
Windows 98SEを使用する場合、初めてパソコンと接続した際に別途、ドライバのインストールが必要です。
*Windows 2000以降のOSでは自動的に iAUDIO F2を認識します。

■ ドライバのインストール方法

1. USBケーブルで製品とパソコンを接続します。

2. 次のような「新しいハードウェアのインストールウィザード」画面が現れます。[次へ]をクリックします。

3. 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」をクリックした後、[次へ]をクリックします。

4. 「検索場所の指定(L)」をクリックして参照ボタンをクリックします。

5. CD-ROMドライブ内の「Win98」フォルダを選択した後「OK」ボタンをクリックします。(該当ファイルは当社ホームページ(www.cowonjapan.com)のダウンロードのページからもダウンロードできます。)

6.検索する位置を指定したら[次へ]をクリックします。

7.続けて[次へ]をクリックします。

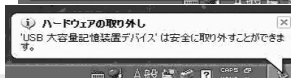
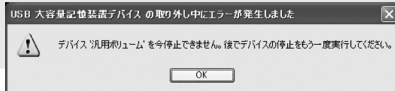
8. [完了]ボタンをクリックするとドライバのインストールが終了します。デバイスマネージャまたはエクスプローラで新しく追加されたドライブを確認することができます。

9.パソコンとの接続およびファイルの保存

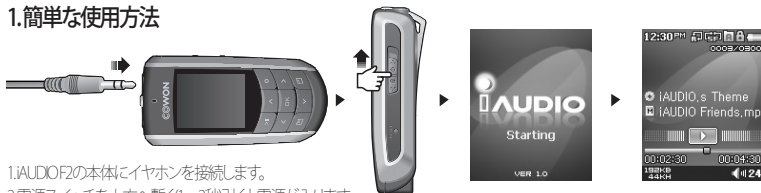
1. 付属のUSBケーブルでUSB端子とパソコンを接続します。
2. 正しく接続された場合はLCDに次のような画像が表示されます。
3. Windows　エクスプローラで新しく追加されたドライブを確認できます。
4. Windows エクスプローラまたはJetShellを実行します。
5. パソコンにある音楽ファイル、イメージファイル、エンコーディングされた動画ファイルおよびその他iAUDIO F2で使用するファイルを"iAUDIO"ドライブに転送(コピー)します。
6. ファイルの保存が終わったらタスクトレイに表示された　アイコンをマウス左ボタンでクリックします。
7. 次のようなメッセージが表示されたらクリックします。

USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (F:) を安全に取り外します

8. 「ハードウェアの安全な取り外し」メッセージが表示されたらUSBケーブルをはずします。

ハードウェアの取り外し
'USB 大容量記憶装置デバイス' は安全に取り外すことができます。

- 本製品が認識できるファイル数は最大1000個およびフォルダ数は最大200個です。
- マイコンピュータまたはWindows エクスプローラでiAUDIOというドライブが見えない場合、パソコンとの接続および設定を確認された後、再度接続して頂くようお願いします。(*Windows 98SEの場合ドライバのインストールが必要です)
- USB接続状態で「ハードウェアの安全な取り外し」をすると充電モードのみ動作します。ファイルを転送する場合、iAUDIO F2を外した後に再度接続して下さい。
- USBハブを利用する場合、USB電源を利用した充電はサポートされません。必ずパソコン本体の背面にあるUSBポートに直接接続してください。
- Windows 98SEではハードウェアの安全な取り外しアイコンが表示されないことがあり、この場合JetShellを終了した後(または転送画面が閉じたことを確認した後)USBケーブルを外して下さい。
- 次のようなメッセージが表示された場合、製品の異常ではありませんので、しばらく後に再度「ハードウェアの安全な取り外し」を実行してください。

10.ファームウェア(Firmware)について

ファームウェアはハードウェアに内蔵されているプログラムです。アップグレードすることにより製品の機能を向上させたり、不具合を修正することができます。
アップグレードすることにより、性能およびメニューが予告なしに変更されることがあります。また、一部のベータ版ファームウェアには正式版ファームウェアで修正される予定のわずかな誤動作が存在する可能性があります。
現在のファームウェアバージョンは[設定](Settings) - [情報](Information)で確認できます。
ファームウェアのアップグレード時、保存されたデータが削除されることがありますので、必ずパソコンにバックアップを行って下さい。
ファームウェアアップグレードの方法はバージョンにより異なることがあります。詳しい内容は当社ホームページ(www.cowonjapan.com)を参考にして下さい。

1.簡単な使用方法

1.iAUDIO F2の本体にイヤホンを接続します。

2.電源スイッチを上方へ暫く(1～2秒)引くと電源が入ります。

3.初期画面および設定したロゴの後、待機画面が表示されます。(設定により自動的に再生するようにできます)

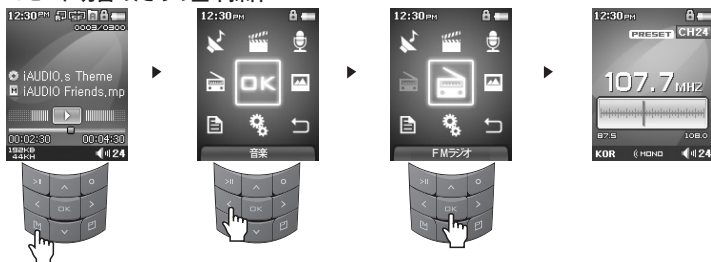
4. ボタンを押すと音楽が再生されます。

5. ボタンを押すと他の曲を再生したり、再生中の曲を検索することができます。

6.電源スイッチを上方へ短く引くと、LCDだけをオン/オフすることができます。

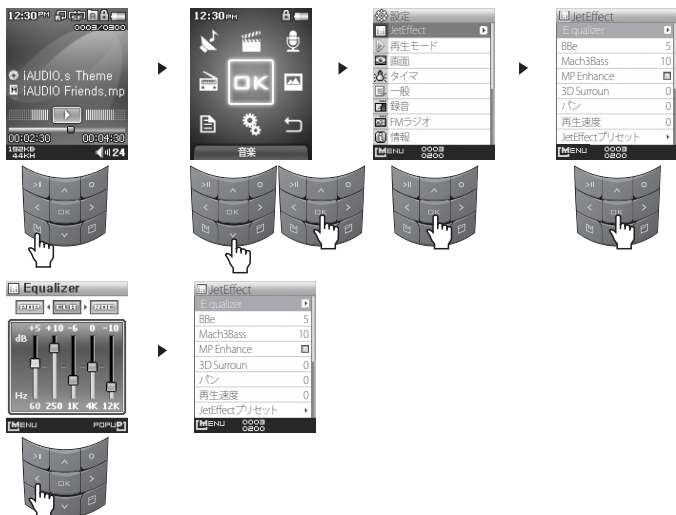
7.電源スイッチを再び上方へ暫く(1～2秒)引くと電源が切れます。

-録音中に電源を切ることはできません。
-ACアダプタを接続している状態では、充電しながら使用することができます。

2.モード切替のための基本操作

6種類のモード(音楽、ビデオ、FMラジオ、録音、写真、テキスト)があります。

ボタンを一度押すとモード切替画面が表示されます。

切り替えたいモードと同じ位置にあるボタンを続けて二度押すか、選択した後に ンを押すと、そのモードに切り替わります。モード切替操作をキャンセルし元のモードに戻るには、[Return]を二度押すか、選択した後に ボタンを押しま

3.設定変更のための基本操作

■ **項目の移動**

- ボタンを押してモード切替画面が表示されたら、 タンを押して「設定」を選択した後、 ボタ を押します。
- メニューを移動するには ボタンを、メニューを選択するには ボタンを押します。
- 上位メニューに移動するに タンを押します。(設定リストではモードセ 画面に戻ります)

■ 項目値の調節

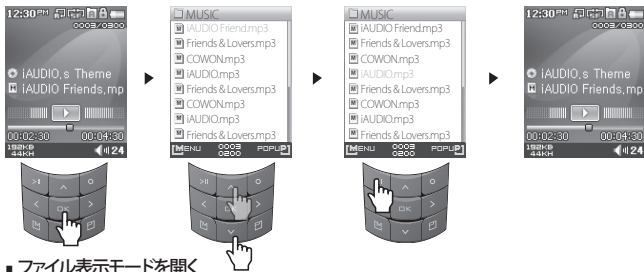
- 項目の場合、 ボタンまたは ボタンを押すと、項目を設定するポップアップメニューが表示されるか設定が適用されます。
- ポップアップメニューでは ボタンを押して希望する値に調節します。
- 希望する値に設定したら を押します。調節された値は直ちに適用されます。

■ 項目設定の取消し、画面を閉じる

- ボタンを押すと現在設定を行っていた項目の値を保存してから、 ボタンを押すと現在設定中の項目の値をキャンセルし元の画面に戻ります。

■ Equalizer(イコライザ)メニュー項目設定

- [JetEffect] - [Equalizer]メニュー項目から入ります。
- ボタンで設定済みのEQ項目か詳細設定項目を選択することができます。
- ボタンを押した後、 ボタンを押してEQを選択するか、各バンド列に移動して詳細設定を行うことができます。
- それぞれのバンド列で ボタンを押してバンドのｄBレベルを調節することができます。(-12dB～+12dB)
  ボタンを押して決定した後、 ボタンを押すと上位メニューに移動します。

4.ファイル検索のための基本操作

■ ファイル表示モードを開く

- ボタンを押すとファイル検索モードが表示されます。
- 音楽、ビデオ、録音、テキストの各モードでは、[OK] ボタンを押すとメモリ内のフォルダ、ファイル検索のためのファイル表示モードが開きます。写真モードでは、[REC]ボタンを押すとファイル表示モードが開きます。
- FMラジオモードでは、周波数プリセット(Preset)を表示して設定するためのプリセットリストが表示されます。

■ ファイル表示モードの項目移動

- ファイル表示モードで項目を上下に移動するには ボタンを押します。
- 下位フォルダ内に移動するには、 ボタンまたは ボタンを押します。
- 上位フォルダに移動するには、 ボタンを押します(最上位フォルダの場合、ファイル表示モードが終了します)

■ ファイル表示モードの項目選択

- ファイルを選択してから ボタンまたは ボタンを押すと、該当ファイルを再生します。
- フォルダを選択してから、 ボタンまたは ボタン、 ボタンを押すと、該当ののフォルダ内に移動します。

■ ファイル表示モードを閉じる

- ボタンを押すと、ファイル表示モード画面を終了します。

5.ポップアップメニューを利用した基本操作

- ボタンを押すと、各モードのポップアップメニューが表示されます。
- ボタンを押して希望する項目に移動し、 ボタンで選択します。
- ボタンを押すと、ポップアップメニューを閉じます。

モード	ポップアップメニューの内容
音楽、ビデオモード	歌詞(動画を除く)、DPLへ追加、Bookmark、削除
FMラジオモード-プリセット表示モード	チャンネルを聞く、現在のチャンネルを保存、チャンネル削除
ファイル表示モード - ファイル	再生、リストに追加、イントロ再生、削除
ファイル表示モード - フォルダ	拡張、再生、リストに追加、削除
ファイル表示モード -DynamicPlayListファイル	再生、削除、すべて削除
ファイル表示モード –Bookmark ファイル	再生、削除、すべて削除
写真モード-ファイル表示モード - イメージファイル	ビュー、壁紙、スライドショー

1.音楽、ビデオモード(マルチメディアファイルの再生)

音楽およびビデオモードは保存されている音楽ファイルおよび動画ファイルを再生するモードです。

■マルチメディアファイルの再生

1. 電源を入れた後[音楽]または[ビデオ]モードに移動します。
2. ボタンを押して音楽ファイルまたはエンコードされた動画ファイルを再生します。
3. 再生中に ボタンを押すと一時停止します。
4. 再生中に   方向に短く押すと他のファイルを再生することができます。
5. 再生中に   方向に長く押すと早送り/巻き戻しを行うことができます。

- 動画再生時は   ボタンと ボタンの機能が入れ替わります。
- 動画ファイルはjetAudio VXを使用してコンバートしなかった場合、正常な再生を保証しません。
- 自動再生が設定されている場合、電源を入れると自動的にファイルを再生します。
- 再スタートが設定されている場合、電源を入れると最後に聞いていた部分から続けて再生できます。
- 再生中に表示される音楽ファイルの情報は[設定]-[画面]-[タイトル]で設定します。
- 保存されたファイルが多い場合、画面が出るまでに時間かかる場合があります。
- 音楽およびビデオモードでは認識可能なファイル数は最大1000個、フォルダ数は最大200個です。(再生可能な音楽および動画ファイルの上限です。それ以外のファイルは制限がありません)

■区間リピート設定

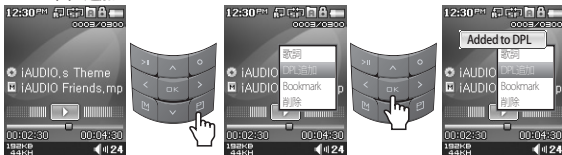
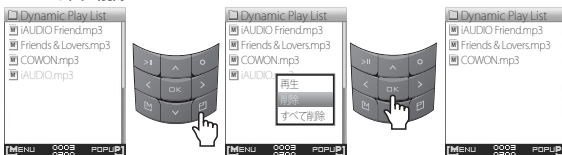
区間リピートとは、ユーザーが繰り返して聞きたい部分を設定し、その範囲内で再生を繰り返す機能です。

1. 音楽モードで、音楽ファイルの再生中に区間リピートを開始したい箇所で ボタンを押すと、下部のステータスバーに アイコンが表示されます。
2. 区間リピートの終点で ボタンを押すと、[A<->B]のアイコンに変わり、設定した区間を繰り返して再生します。
3. 区間リピートを解除するにはもう一度[REC]ボタンをします。

-少なくとも1秒以上の区間を設定しなければなりません。
-区間リピート設定中に他の曲を選択すると区間リピートが解除されます。
-音楽ファイルのみ設定可能で、動画ファイルの場合は区間リピートを設定できません。

■ダイナミックプレイリスト(以下DPL)の設定

ユーザーが選んだ曲だけを簡単にリストに編集して聞くことができる機能です。
iAUDIO F2にはパソコンでは認識されない「Dynamic Play List」という特殊フォルダがあります。
ユーザーが任意の曲を「Dynamic Play List」フォルダ内のリストへ追加/削除して、リスト中のファイルのみを再生することができます。

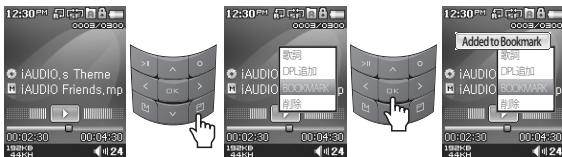
■DPLに曲を追加

■DPLから曲を削除

1. 再生中のファイルを追加するには、 ボタンを押してポップアップメニューを表示させた後、[DPLへ追加]を選択します。
2. 特定のファイルまたはフォルダを追加するには、ファイル表示モードのファイルまたはフォルダ上で ボタンを押してポップアップメニューを表示させた後、[リストに追加]を選択します。
3. DPLのファイルを削除するには、[Dynamic Play List]フォルダに移動し、削除したい曲上で ボタンを押してポップアップメニューを表示させた後、[削除]を選択します。
4. DPLをすべて削除するには、[Dynamic Play List]フォルダに移動し、 ボタンを押してポップアップメニューを表示させた後、[すべて削除]を選択します。

- お好みのフォルダを選択して「リストに追加」で追加をすると、フォルダ内の全ての曲がDPLに追加されます。
- 「Dynamic Play List」フォルダで曲を削除するのは、単にリンクだけが削除されることとなり、該当ファイルを削除したい場合は、ファイル検索モードまたはパソコンに接続後に削除してください。
- DPLに設定されているファイルを削除すると、保存されているDPLファイルは自動的に削除されます。
- DPLに追加が可能なファイル数は最大200個です。

主要機能の使用方法

■Bookmark(ブックマーク)の設定

ブックマーク機能はお各ファイルのお好みの開始位置を設定する機能です。
iAUDIO F2にはパソコンでは認識されない「Bookmark」という特殊フォルダがあります。
ブックマークを設定すると、いつでもその位置からファイルの再生が可能になります。

■Bookmarkに曲を追加

■Bookmarkから曲を削除

1. 再生中のファイルにブックマークを設定するには、 ボタンを押してポップアップメニューを表示させた後、[Bookmark]を選択します。
2. すでにブックマークが設定されているファイルの場合は、その位置にブックマークが変更されます。
3. ブックマークが設定された位置からファイルを再生するには、[Bookmark]フォルダから該当ファイルを選択します。
4. ブックマークファイルを削除するには、[Bookmark]フォルダに移動し、削除したい曲上で ボタンを押してポップアップメニューを表示させた後、[削除]を選択します。
5. ブックマークファイルをすべて削除するには、[Bookmark]フォルダに移動し、 ボタンを押してポップアップメニューを表示させた後、[すべて削除]を選択します。

-「Bookmark」フォルダで曲を削除するのは、単にリンクだけが削除されることとなり、該当ファイルを削除したい場合は、ファイル検索モードまたはパソコンに接続後に削除してください。
-ブックマークが設定されている曲を削除すると保存されているブックマークファイルは自動的に削除されます。
-ブックマークに追加可能なファイル数は最大200個です。

2.FMラジオ モード(FMラジオを聴く)

FMラジオモードは内蔵チューナーを利用して、FMラジオ放送を聞くことのできるモードです。

■FMラジオを聞く

1. 製品の電源を入れた後、[FMラジオ]モードに移動します。
2. 方向に短く押すと、0.1MHzずつ周波数を変更します。
3. 方向に長く押すと、受信状態が良好な周波数を自動的に検索します。

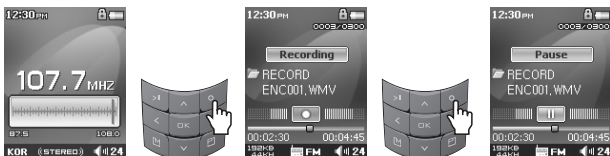
- 製品の電源を切る前にFMラジオを聴いていた場合、電源を入れると同時にFMラジオモードが実行されます。
-イヤホンはFMラジオのアンテナの役割をしますので、イヤホンケーブルを出来るだけまっすぐに長く伸ばすほど受信感度は良くなります。

■プリセット(Preset)の設定

よく聞く周波数を設定しておくことで、聞きたい周波数をすぐに選択できるようになります。

1. 製品の電源を入れた後、FMラジオモードに移動します。
2. よく聞く周波数を選択した後 ボタンを押すと、[PRESET]と表示され、プリセットモードになります。
3. ボタンを押してプリセットリストを開きます。
4. 現在受信中の周波数を設定したいチャンネル番号に ボタンを押して選択した後、 ボタンを押してポップアップメニューを表示させせます。
5. 「現在のチャンネルを保存」を選択すると、現在指定しているチャンネル番号に、受信中の周波数が設定されます。
6. 「チャンネルを聞く」ですでに設定されている周波数を受信したり、「チャンネル削除」で不要な周波数を削除することができます。
7. プリセットモード状態で再び ボタンを押すと、「PRESET」の表示が消え、 ボタンで周波数を調節できる一般モードに切り替わります。

- プリセット(Preset)リストに設定された周波数がない場合、周波数の移動および検索は行われません。
- プリセット(Preset)リストは最大24個まで設定が可能です。

■FMラジオの録音

1. 製品の電源を入れた後、FMラジオモードに移動します。
2. 録音したい周波数を受信状態にします。
3. 録音を始めたい時点で ボタンを押すと録音がスタートします。
4. 再度 ボタンを押すと録音が終了します。

■FMラジオのタイマー予約録音

1.【4. 設定の機能説明 – 6. タイマー】を参考にしてiAUDIO F2の時刻設定をします。
2. [設定]– [タイマ]の[アラームモード]で [FM録音] を選択します。
3. [設定]– [タイマ]の [モーニングコール時刻] でタイマー予約録音したい時間を設定します。
4. 設定された時間になると自動的に電源が入り、録音が始まります。

-録音ファイルは最上位フォルダの「RECORD」フォルダに保存されます。
-録音時には普段より多くのバッテリーを消費しますので、録音の前には十分に充電をおこなって下さい。
-録音の品質と容量は、電波の受信状態と録音の品質設定によります。設定については【4.設定の機能説明 –8.録音】を参考にして下さい。

3.録音モード(内蔵マイク又はラインインケーブルでの録音)

録音モードは内蔵マイクを利用した音声録音(ボイスレコーディング)や同梱されているラインインケーブルを使用して他の音響機器(CDプレーヤー等)の音を録音する機能です。

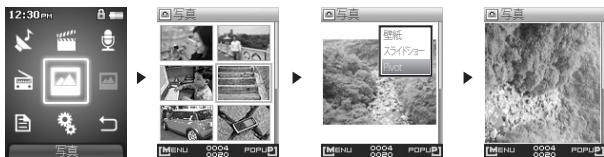
■音声の録音(ボイスレコーディング)

1. 製品の電源を入れた後、ボタンを押して[設定] – [録音] –[録音モード] を [Voice] に設定します。
2. ボタンを押して録音モードに移動します。
3. ボタンを押すと内蔵マイクを利用した音声録音が始まります。
4. 録音中に ボタンを押すと一時停止し、もう一度押すと録音を再開します。
5. ボタンをもう一度押すと録音が終了します。
6. 録音されたファイルを聞くには、イヤホンを接続した後、 ボタンを押します。(簡易再生)

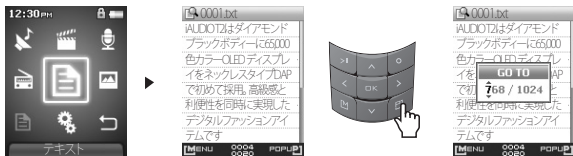
■ラインイン録音

1. 付属のラインインケーブルでCDプレーヤー等のイヤホン端子とiAUDIO F2のラインイン(Line-in)端子を接続します。
2. 製品の電源を入れた後、ボタンを押して[設定] - [録音] - [録音モード]を[Line In]に設定します。
3. ボタンを押して録音モードに移動します。
4. 再生側の機器の再生を開始して、iAUDIO F2の ボタンを押すと録音が始まります。
5. 録音中に ボタンを押すと一時停止し、もう一度押すと録音を再開します。
6. ボタンをもう一度押すと録音が終了します。
7. 録音ファイルを聞くには、イヤホンを接続した後、 ボタンを押します。(簡易再生)

- 内蔵マイクでの録音ファイルは最上位フォルダの「VOICE」フォルダ内に、ラインイン録音ファイルは「RECORD」フォルダ内に保存されています。
- JetEffect、早送り/巻き戻しなどの機能を利用して録音したファイルを再生する時は、音楽モードで録音したファイルを再生して下さい。
- 製品の電源を切る時に録音モードだった場合、電源を入れると同時に録音モードが実行されます。
- 録音時には普段より多くのバッテリーを消費しますので、録音の前には十分に充電をおこなって下さい。
- 録音の品質と容量は録音の品質設定によります。設定については【4.設定の機能説明−8.録音】を参考にして下さい。

4.写真モード(イメージビュー)

1. iAUDIO F2をUSBケーブルでパソコンと接続します。
2. iAUDIO F2で見たい画像ファイルをiAUDIO F2の [PICTURE] フォルダに転送(コピー)します。
3. 「ハードウェアの安全な取り外し」をした後iAUDIO F2とパソコンを取り外します。
4. 製品の電源を入れた後、 ボタンを押して[写真] モードに移動すると、iAUDIO F2に保存された画像ファイルの一覧(サムネイル)が表示されます。
5. 見たい画像を選択した後 ボタンを押すと画像を見ることができます。
6. ボタンを押すと、前の画像または次の画像を見ることができます。
7. ボタンを押すと画像を拡大また縮小し、拡大した状態で ボタンを押すと ボタンで表示位置の移動が可能になります。もう一度 ボタンを押すと表示位置の移動が解除になります。
8. 画像を回転するには、 ボタンを押してポップアップメニューを表示させた後、[Pivot]を選択します。回転表示中は、ボタンと ボタンの機能が入れ替わります。
9. ボタンを押してポップアップメニューを表示させた後、[壁紙] を選択するとその画像を壁紙に設定します。【4.設定の機能説明 – 5.画面】の壁紙設定を参考にしてください。

- 音楽の再生中にも画像ファイルを見ることができます。
- JPG(プログレッシブJPGを除く)以外の画像フォーマットはサポートしません。
- ピボット機能を使用する場合、 ボタンと ボタンの機能が変更されます。
- イメージファイルの容量が大きいほど表示に多くの時間が必要となります。

5.テキストモード(テキストファイルビュー)

1. iAUDIO F2をUSBケーブルでパソコンと接続します。
2. iAUDIO F2で見たいテキストファイルを「TEXT」フォルダに転送(コピー)します。
3. 「ハードウェアの安全な取り外し」をした後、iAUDIO F2とパソコンを取り外します。
4. 製品の電源を入れた後、ボタンを押して[テキスト]モードに移動し、iAUDIO F2に保存されたテキストファイルを選択すると内容が表示されます。
5. ボタンを押すと一行ずつ移動し、タンを押すと一ページずつ移動します。
6. 特定の位置に移動するには、ボタンを押して移動先を指定した後、ンを押します。

-表示可能な文字コードはShift-JISです。Word等のドキュメントは表示できません。
-テキストファイルは最大240KBまで表示できます。

6.各ボタンの使用法

ボタン	説明
>II	•ファイルの再生中に短く押すと再生/一時停止を行います。 •ファイル表示モードでは、選択したフォルダに移動したり、またはそのファイルを再生(表示)します。 •設定モードでは設定中の値を適用し、設定モードを終了します。 •FMラジオモードではプリセットモードに切り替わります。
○	•ファイルの再生中には区間リピートを設定します。 •録音モードでは録音を開始/停止します。 •ファイル表示モードでは、ファイル表示モードを終了します。 •設定モードでは設定中の値をキャンセルし、設定モードを終了します。 •FMラジオモードでは録音を開始/停止します。
^	•ボリュームを上げます。 •ファイル表示モードではフォーカスを上へ移動します。 •設定モードではフォーカスを上へ移動、設定値の変更をします。
v	•ボリュームを下げます。 •ファイル表示モードではフォーカスを下に移動します。 •設定モードではフォーカスを下に移動、設定値の変更をします。

ボタン	説明
<	•ファイルの再生中に短く押すと前のファイルを再生します。 •ファイルの再生中に長く押すと巻き戻しを行います。 •ファイル表示モードでは上位フォルダに移動します。 •設定モードでは上位メニューに移動します。
>	•ファイルの再生中に短く押すと次のファイルを再生します。 •ファイルの再生中に長く押すと早送りを行います。 •ファイル表示モードでは下位フォルダに移動します。(フォルダにフォーカス時) •設定モードでは下位メニューに移動します。
OK	•一度押すとファイル表示モードを開きます。 •ファイル表示モードでは、選択したフォルダに移動したり、またはそのファイルを再生(表示)します。 •設定では選択項目に移動したら、または設定値を適用します。
M	•各モード実行中に押すと、モード切替画面が表示されます。
	•各モードでのポップアップメニューを表示します。 •ファイル表示モードではポップアップメニューを表示します。

設定の機能説明

1.設定一覧表

Menu	音楽 ビデオ 録音 FMラジオ 写真 テキスト 設定メニュー ▶
JetEffect	Equalizer BBE Mach3Bass MP Enhance 3D Surround パン(Pan) 再生速度(Play Speed) JetEffect プリセット(JetEffect Preset)
再生モード(Play Mode)	再生領域(Boundary) リピート(Repeat) シャッフル(Shuffle)
画面(Display)	言語(Language) タイトル(Title) 再生時間(Play Time) アルバム名のスクロール(Album Scroll) タイトルスクロール(Title Scroll) スクロール速度(Scrollspeed) 壁紙(Wallpaper) 歌詞(Lyrics) 画面自動オフ(Auto Display off) Auto KeyPad Off 明度(Brightness)
タイマ(Timer)	時間設定(Time Setup) アラームモード(Wakeup Mode) モーニングコール時刻(Wakeup Time) スリープ(Sleep) 自動電源オフ(Auto Off)
一般(General)	スキップ間隔(Skip Length) 検索速度(Scan Speed) Silent Scan 再スタート(Resume) 自動再生(Auto Play) フェードイン(Fade in) 充電(Charge) ユーザー定義ボタン(User defined button) デフォルト設定に戻る(Load Default) ファイルブラウザ(File Browser) USB接続(USB Connection)
録音(Recording)	ラインイン bps(LineIn bps) 音声録音 bps(Voice bps) FM bps マイクボリューム(Mic volume) ラインボリューム(Line volume) 自動シンク(Auto Sync) 録音モード(Recording Mode)
FMラジオ(FM Radio)	ステレオ(Stereo) 自動検索(Auto Scan) 地域(Region)
情報(Information)	

- 設定項目はファームウェアアップグレード時に変更されることがあります。
- 設定項目の表示言語変更は [5.画面] – [1.言語] で可能です。
- 設定項目に対する操作法は【2.基本機能の使用法 - 3.設定のための基本操作】 を参考にして下さい。

2.モード切替画面(Menu)

初期画面で音楽、ビデオ、FMラジオ、録音、写真、テキストモードを選択するか、設定に移動することができます。

3.JetEffect

1. Equalizer
   - すでに設定されている値を呼び出したり、ユーザー自ら5バンドEQを設定することができます。
   - ノーマル、ロック、ジャズ、クラシック、ポップス、ボーカル、ユーザーEQの中から選択することができ、各EQはユーザーの好みにより編集が可能です。
2. BBE
   - BBEとは音楽を鮮明にする音場効果です。
3. Mach3Bass
   - Mach3Bassは超低域を強調するベース増幅機能です。
4. MP Enhance
   - MP Enhanceは失われた音域を補償する音場効果です。

5. 3D Surround

- 3D Surroundは3次元立体音響効果を提供します。

6. パン(Pan)

- Panは左右音量の均衡を調節する機能です。

7. 再生速度(Play Speed)

- 音楽ファイルの再生速度を調節します。

8. JetEffectプリセット(JetEffect Preset)

- お好みのプリセットで[POPUP]ボタンを押してポップアップメニューを表示させた後、[保存]または[適用]を選択します。(適用で保存されている設定値を呼び出します)

-過度なJetEffect設定は音の歪曲やノイズ発生の原因になります。
-JetEffectに関して詳しく知りたい場合、ホームページ(www.cowonjapan.com)のBBE MP欄を参考にして下さい。

4.再生モード(Play Mode)

1. 再生領域(Boundary)

- ファイルやフォルダなどに対して再生範囲を設定する機能として、さまざまな範囲を設定できます。
- 再生範囲にはiAUDIO F2で録音されたファイルは除外されます。
  すべてのファイル(All):フォルダに関係なく全てのファイルを再生します。
  １曲だけ(Single):1曲だけ再生します。
  フォルダ(Folder):現在選択されているフォルダ内のファイルのみ再生します。
  下位のフォルダを含む(Subfolder):現在選択されているフォルダと下位フォルダを全て再生します。
- DPL、Bookmarkの曲を再生する場合、自動的に再生領域が設定されます。
- DPL、Bookmarkの曲を再生途中、リストに含まれないファイルを再生すると自動的に前の再生領域設定に戻ります。

2. リピート(Repeat)

- 再生領域で指定された範囲の中でリピート再生するかどうかを設定できます。
- 設定した場合はリピート再生となり、再生領域が「全てのファイル」ならばすべての曲が再生された時点で先頭に戻り再生が継続されます。

3. シャッフル(Shuffle)

- 再生領域に指定された範囲の中でシャッフル再生するかどうかを設定できます。
- 設定すると次の曲が任意に選択されて再生されます。

5.画面(Display)

1. 言語(Language)
   - iAUDIO F2で使用する言語を設定できます。

2. タイトル(Title)
   - LCDに表示されるファイルの名前をどのように表示するか設定できます。
   - [ファイル名]の場合保存されたファイルの名前がそのまま表示され、[ID3Tag]の場合ファイル内のID3タグが表示されます。(ID3タグが含まれないファイルでは、ファイル名が表示されます)

3. 再生時間(Play Time)
   - 再生するトラックの時間表示を設定できます。
   - [再生した時間]は経過した時間を、[残りの時間]は残りの再生時間を表示します。

4. アルバム名のスクロール(Album Scroll)
   - LCDに表示されるアルバム名のスクロール方式を設定できます。
   - [OFF]の場合スクロールせず、[ワンウェー]の場合左方向に文字がスクロールします。

5. タイトルスクロール(Title Scroll)
   - LCDに表示されるタイトルのスクロール方式を設定できます。
   - [Off]の場合はスクロールせず、[ワンウェー]の場合は左方向に文字がスクロールします。

6. スクロール速度(Scrollspeed)
   - LCDに表示される文字のスクロール速度を設定できます。
   - 数字が大きいほどスクロール速度が速くなります。

7. 壁紙(Wallpaper)
   - 音楽モードの壁紙を設定できます。
   - [なし]の場合は壁紙を表示せず、[デフォルト設定]はシステムに設定された画面が表示されます。
   - [ユーザー定義設定]の場合は写真モードで壁紙として指定したファイルが表示されます。

8. 歌詞(Lyrics)
   - 歌詞データが入力されている音楽ファイルの歌詞表示を設定できます。
   - 設定した場合、再生中の音楽ファイルの歌詞がLCDに表示されます。
   - 設定した場合でも再生中のファイルに歌詞データが入っていなければ表示されません。
   - 歌詞の入力についてはホームページ(www.cowonjapan.com)のFAQのLDBマネージャ利用方法をご参考下さい。

9. 画面自動オフ(Auto Display off)
- LCDの点灯時間を設定できます。
- 設定された時間内に、何も操作しないとLCDが消灯します。

10. キーパッド自動オフ(Auto Keypad off)
- キーパッドの点灯時間を設定できます。設定された時間内に、何も操作しないとキーパッドが消灯します。

11. 明度(Brightness)
- LCDの明度を設定できます。

6.タイマ(Timer)

1. 時間設定(Time Setup)
- 現在の時刻を設定する機能です。
- アラームおよびタイマー予約録音のために正確な時間を設定して下さい。

2. アラームモード(Wakeup Mode)
- 次の[モーニングコール時刻]で設定された時間に自動的に電源が入る機能です。
- [音楽アラーム]は音楽を再生し、[FMアラーム]の場合は最後に聞いた周波数でFMラジオモードが実行されます。
- [FM録音]の場合、設定された時間から定められた時間まで、最後に聞いていた周波数のFMラジオを録音します。
- [FM録音]の場合、通常よりも多くの電力を消費します。十分なバッテリー残量があるか事前に確認して下さい。

3. モーニングコール時刻(Wakeup Time)
- 自動的に電源が入る時間を設定します。
- [Cycle]の項目は[Once]では一度だけ、[Daily]では毎日、アラームが実行されます。
- Durationの項目はアラームが持続する時間を意味します。設定した時間を経過すると自動的に電源が切れます。

4. スリープ(Sleep)
- 設定した時間を経過すると自動的に電源を切る機能です。
- 設定した時間を経過するとファイル再生中でも自動的に電源が切れます。

5. 自動電源オフ(Auto Off)
- iAUDIO F2が停止している状態で、設定した時間が経過するまで何も操作しなかった場合に自動的に電源を切る機能です。
- 再生中、録音中の場合は作動しません。

7.一般(General)

1. スキップ間隔(Skip Length)

• 再生中に < > 方向に短く押した時、一度にスキップする時間の長さを設定する機能です。

2. 検索速度(Scan Speed)

• 再生中に < > 方向に長く押した時の早送り/巻き戻しの速度を設定する機能です。
•数値が大きいほど速い検索が可能です。

3. Silent Scan

•早送り/巻き戻しをする場合の音声出力の有無を設定する機能です。
•設定すると、早送り/巻き戻し時に音声が出ません。

4. 再スタート(Resume)

•電源を切る直前に再生していた音楽ファイルの位置を記憶する機能です。
•次の項目の[自動再生]が設定されている場合、電源を入れると自動的に最後に再生していた位置から開始します。

5. 自動再生(Auto Play)

•電源を入れた後、自動的に再生を開始する機能です。
•設定された場合、電源を切る直前に再生していた曲の先頭から自動的に再生を開始します。
•前の項目の[再スタート]が設定されている場合、最後に再生していた位置から自動的に再生します。

6. フェードイン(Fade in)

•停止あるいは一時停止後の再生時に音量を徐々に大きくする機能です。
•音量を変化させる時間を設定できます。

7. 充電(Charge)

•充電の設定を行うことができます。
•[On]の場合はUSBおよびＡＣアダプタで接続すると充電が行われ、[Off]の場合は充電は行われません。
•[Off]に設定した場合は、バッテリー切れに注意してください。

8. ユーザー定義ボタン(User defined button)

• M ボタンや ○ ボタンを長く押したと場合の動作を設定できます。
• [MenuKeyを長く]は[JetEffect]、[Boundary/Shuffle]、「Equalizer」、[DPLへ追加]、[Bookmark]、[歌詞]の中から、[RecKeyを長く]は[音声録音]、[Boundary/Shuffle]、「Equalizer」、[DPLへ追加]、[Bookmark]、[歌詞]の中から設定できます。

9. デフォルト設定に戻る(Load Default)

•表示言語(Language)を除いた設定情報を基本値に戻します。

10. ファイルブラウザ(File　Browser)
- 音楽モードでのファイル表示モードの表示方法を設定できます。
- [File]はファイル名やフォルダ名での表示、[Music]はID3　Tagを元に分類表示します。
- 設定変更後、再起動すると表示が変更されます。

11. USB接続(USB　Connection)
- USB接続時のデータの転送方法を設定できます。
- [UMS]はパソコンに大容量記憶装置デバイスとして認識され、JetShellやWindows　エクスプローラなどで転送できます。
- [MTP]はパソコンにMTPデバイスとして認識され、Windows　Media　Playerで転送できます。[MTP]での接続はWindows　XP以降およびWindows　Media　Player10以降の対応です。
- [MTP]で転送したファイルは、ファイルブラウザを[Music]に設定した場合に表示されます。

8.録音(Recording)

1. ラインイン bps(LineIn bps)
- ダイレクトエンコーディング(ラインイン端子)で録音するファイルの音質を設定します。
- bpsが大きいほど音質は良くなりますが、ファイルのサイズは大きくなります。

2. 音声録音　bps(Voice bps)
- 内蔵マイクで録音するファイルの音質を設定します。
- 内蔵マイクで録音されるファイルはMono(モノラル)です。
- bpsが大きいほど音質は良くなりますが、ファイルのサイズは大きくなります。

3. FM bps
- FMラジオを受信中に ボタンを押して録音するファイルの音質を設定します。
- また、FMラジオのタイマー予約録音で録音されるファイルの音質もこの設定値になります。
- bpsが大きいほど音質は良くなりますが、ファイルのサイズは大きくなります。

4. マイクボリューム(Mic volume)
- 内蔵マイクのボリュームレベルを調節します。

5. ラインボリューム(Line volume)
- ラインイン端子のボリューム レベルを調節します。

6. 自動シンク(Auto Sync)
- ラインイン端子に入力される音を感知して、新しくファイルを作成する機能です。
- 設定した時間以上に無音が続いた場合、新しいファイルを作成して録音を継続します。曲中に音量の小さい部分がある場合、無音部分と誤認識され複数のファイルが作成される事があります。

7. 録音モード(Recording Mode)
- 音声録音とラインイン録音のどちらで録音を行うかを選択できます。
- [Voice]の場合は内蔵マイクを使用して録音され、[Line In]の場合はラインイン端子から録音されます。

9. FMラジオ(FM Radio)

1. ステレオ(Stereo)
- FMラジオを聞く時の音声出力を[ステレオ]又は[モノ]が選択できます。
- 但し、モノラル放送の場合は[ステレオ]を選択してもモノラル音声出力になります。

2. 自動検索(Auto Scan)
- 受信可能なFM周波数を自動的に検索してプリセットリストに登録する機能です。

3. 地域(Region)
- FMラジオの受信地域を選択します。

10. 情報(Information)

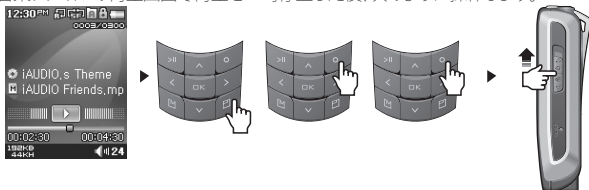
- バージョン(Version) : 現在のファームウェア バージョンです。
- 総容量(Total) : 内蔵フラッシュメモリの全体容量です。
- 空き容量(Free) : 内蔵フラッシュメモリの残りの容量です。

追加説明

1.工場出荷状態へ初期化

iAUDIO F2には基本設定へ戻すことの他に工場出荷状態へ初期化する機能があります。
初期化した場合、これまで設定した値は削除され、工場出荷時の設定値に変更されます。
（この操作で、保存されているファイルが影響を受けることはありません）

初期化方法

1. 製品の電源を入れた後、[音楽] モードに移動します。
2. 音楽ファイルの再生画面で再生を一時停止した後、次のように操作します。

3. 初期化されると製品の電源を入れた時に、言語の設定画面が表示されます。

-製品が誤動作した時は、まず、本体側面の[RESET]ボタンを押して製品を再スタートして下さい。その後も誤動作が継続して発生する場合、工場出荷状態に初期化して下さい。

2. CD-ROM内のソフトウェアについて

iAUDIO F2同梱のCD-ROMには世界的に有名なマルチメディア統合再生および動画変換プログラムであるjetAudio VXおよびiAUDIO用マネジャープログラムであるJetShellが収録されています。(その他にWindows 98 SE用のドライバファイルが収録されています。)

3. jetAudio VXによる動画ファイルの変換

1.jetAudio VXをインストールした後に実行します。

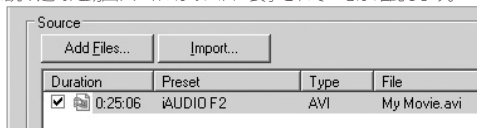
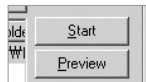
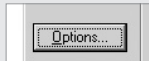
2.動画ファイルの変換を行うには上段の[Convert Video]をクリックします。

3.ビデオ変換画面が表示されたら[Add Files…]を選択して、変換したい動画ファイルを読み込みます。

4.読み込んだ動画ファイルがリストに表示されているか確認します。

Source

Add Files... Import...

Duration	Preset	Type	File
0:25:06	iAUDIO F2	AVI	My Movie.avi

5.左下の保存先フォルダおよび「Output format」を確認した後、右側上段の[Start]を押すと変換が始まります。

-jetAudio VXを使用して変換を行っていない動画ファイルの場合、正常な再生を保証しません。
-パソコンで正常に再生される動画ファイルのみ変換することができます。
-すべてのファイルが正常に変換されるわけではありません。また変換されたとしても破損したファイルはiAUDIO F2で再生できないことがあります。
-パソコンの性能および変換元ファイルのサイズ、コーデックの種類により、変換時間に違いが生じます。
-[Preview]をクリックするとファイルを保存せずに変換中の画面を確認することができます。
-字幕を同時に変換する時や、設定の変更を行う時は[Options…]をクリックします。

-.smiファイルは字幕ファイルです。必ず動画ファイルと同じファイル名にして下さい。
-iAUDIO F2で再生可能な動画スペックは次の通りです。

Video : Xvid, 1-pass, 256～384kbps
Audio : MP3 128kbps CBR
Size : 160x128
Frame Rate : 15fps以下
Interleaving time : 66ms以下

ジェットシェル(JetShell)とは?

JetShellは以下の役割をするiAUDIO用のマネージャプログラムです。

- iAUDIOへファイルを転送(Download/Upload)する機能
- Windowsエクスプローラと同じ構造のファイル管理機能
- MP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、m3uプレイリストの再生
- 転送リスト(Download List)による簡単なファイル転送
- 多様なスペクトラム、イコライザ、エフェクトサポート
- CDDB、ID3タグ (v1.1) 編集機能
- iAUDIO起動ロゴ転送機能
- フラッシュメモリフォーマット機能

JetShellのシステム要件

- Pentium 200 MHz以上
- メモリ 32MB以上
- 20MB以上のハードディスクの空き容量
- 256カラー以上のグラフィックカード
- Windows 98 SE/ME/2000/XP (NTでは動作しません)
- USBポート 1.1以上(USB2.0推奨)
- CD-ROMドライブ
- サウンドカード、スピーカまたはヘッドホン

1. iAUDIOのインストールCDをCD-ROMドライブに挿入すると、インストールプログラムが自動的に実行されます。
Windowsの設定によっては自動的に実行されない場合があります。その場合はC D-ROMの「/setup.exe」または「/JetShell/setup.exe」を実行してください。

2. インストールが完了すると、「スタート → プログラム → COWON → iAUDIO F2 → JetShell」に登録されます。

3. iAUDIOをパソコンに接続します。(接続前にJetShellを実行しないでください)
USBケーブルでiAUDIOのUSBポートとパソコンのUSBポートを接続します。
(USBハブは使用しないでください。パソコン本体のUSBポートに直接接続することを推奨します。)

4.USBケーブルを選択すると、デバイスを検出し、iAUDIO F2 USBドライバが自動的にインストールされます。Windowsの設定によってはドライバのインストール画面が表示されないことがあります。
インストールが完了すると、以下のように(XP Home Editionの場合)「マイコンピュータ」の中に「iAUDIO」というドライブが表示されます。または「コントロールパネル」→「システム」→「ハードウェア」→「デバイスマネージャ」→「ディスクドライブ」で確認できます。

5. 上記の過程が完了した後、JetShellやWindowsエクスプローラを使ってファイルを転送できます。

JetShellの構成

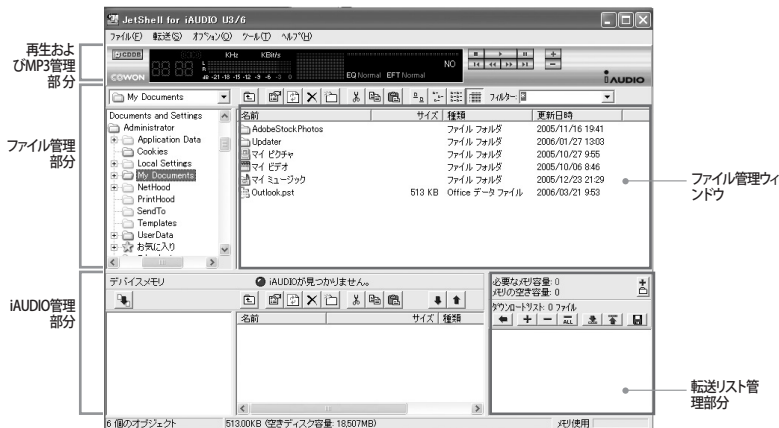
全体の姿

再生およびMP3管理部分

ファイル管理部分

iAUDIO管理部分

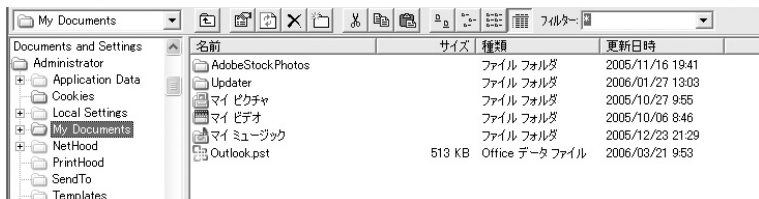
ファイル管理ウィンドウ

転送リスト管理部分

JetShellを実行すると、JetShellがiAUDIOドライブを制御するため、次の操作は必ずJetShellを終了してから行ってください。

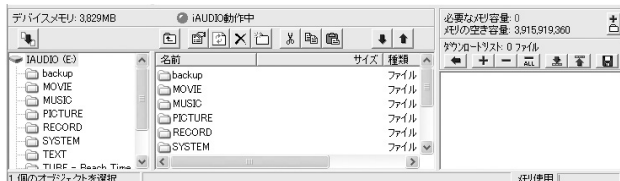
- USBドライブのインストール
- Windowsエクスプローラでフォーマットする場合
- ファームウェアのアップグレード
- iAUDIOをＵＳＢから取り外す

MP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、m3uプレイリストの再生

ファイル管理ウィンドウでMP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、m3uプレイリストをダブルクリックするか、上図のプレーヤー部分にドラッグアンドドロップを行うとファイルの再生が始まります。また、複数のファイルを選択した後、再生ボタンを押すことで連続再生もできます。中央の黒色の画面に、再生中のファイルの進行状況および曲（ファイル）名、2種類のスペクトラムが表示されます。
右側にあるボタンで再生/停止/早送り/巻き戻し等のコントロール、「+」「-」ボタンでボリュームを調節できます。再生中のファイルの特定の位置へ移動するには曲(ファイル)名表示上部のポジションバーをクリックします。

MP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、m3uプレイリストの再生

JetShellのファイル管理部分はWindowsエクスプローラとほぼ同じです。左のウィンドウはツリー構造でフォルダやハードディスク、CD-ROMドライブを表示します。右のウィンドウではドライブ（フォルダ）の中にあるファイルリストを表示します。

JetShellの構成

フラッシュメモリの管理

JetShellの下部はiAUDIOのメモリ(ハードディスク)内容表示部分と転送リスト管理部分から構成されています。

iAUDIOが正常に認識されている場合は、図のように赤色の「iAUDIO動作中　」というランプとメッセージが表示されます。ユーザがパソコンからiAUDIOへ転送したファイルは中央のウィンドウに表示されます。右下に見える「メモリ使用」は、iAUDIOの全メモリ(ハードディスク)のうち使用されている容量を棒グラフで表示しています。上の画面のような表示の場合は、iAUDIOのメモリは殆ど使用されていません。

ボタン	機能	説明
	上へ	上位のフォルダへ移動します。
	プロパティ	指定したファイルのプロパティを表示します。
	最新の情報に更新	メモリ(ハードディスク)の内容を新しく読み込んで表示します。
	削除	指定したファイルまたはフォルダを削除します。
	新しいフォルダの作成	新しいフォルダを作成します。
	切り取り	指定したファイルまたはフォルダを切り取ります。
	コピー	指定したファイルまたはフォルダをコピーします。
	貼り付け	切り取ったファイルまたはコピーしたファイルを貼り付けます。
	デバイスメモリにダウンロード	指定したファイルまたはフォルダをコパソコンからiAUDIOへ転送します。
	コンピュータにアップロード	指定したファイルまたはフォルダをiAUDIOからパソコンへ転送します。

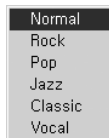
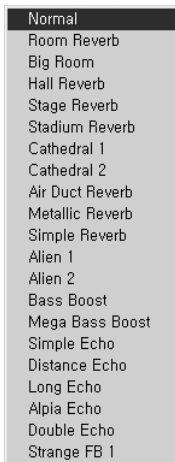
JetShellは音楽を視覚的に表すスペクトラムを表示できます。スペクトラムが表示されている部分をクリックすると、以下のように画面が変わります。

また、[EQ]、[EFT] の部分をクリックすると、イコライザとエフェクトを変更して更に音楽を楽しむことができます。

（右クリックすると一覧が表示されます）

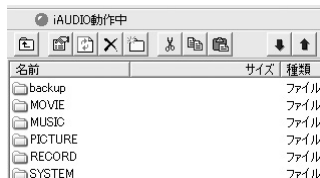
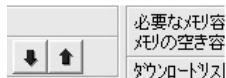
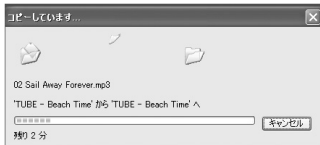
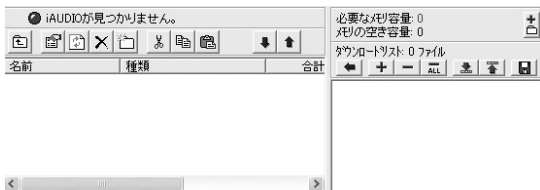
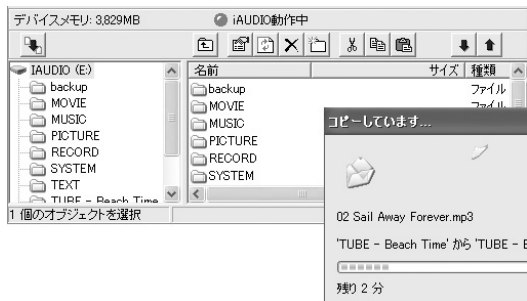
- Normal
- Rock
- Pop
- Jazz
- Classic
- Vocal

多様なEQ

- Normal
- Room Reverb
- Big Room
- Hall Reverb
- Stage Reverb
- Stadium Reverb
- Cathedral 1
- Cathedral 2
- Air Duct Reverb
- Metallic Reverb
- Simple Reverb
- Alien 1
- Alien 2
- Bass Boost
- Mega Bass Boost
- Simple Echo
- Distance Echo
- Long Echo
- Alpia Echo
- Double Echo
- Strange FB 1

多様なEffect

MP3ファイルのiAUDIOへの転送

1. 音楽ファイルのiAUDIOへの転送は非常に簡単です。ファイル管理部分で転送したいファイルを選択した後、下向きの矢印ボタンを押すとiAUDIOに転送されます。
特定のフォルダへ転送したい場合は、予めiAUDIO管理部分で転送先のフォルダを選択しておきます。

2.　または、Windowsエクスプローラと同じく、ファイル管理部分でファイルを選択した後、下のAUDIO管理部分へドラッグアンドドロップすることでも転送できます。

3.ファイル転送中の画面です。転送中には絶対USBケーブルを取り外さないでください。

4. または、下図のように転送リスト管理ウィンドウに前もって登録した後転送する方法もあります。
それぞれ違うフォルダにある複数のファイルを「+」ボタンで登録した後、「←」ボタンで一度に転送できます。

5. JetShell以外のウインドウに表示されているファイルをマウスでドラッグし、iAUDIO管理ウィンドウにドロップしても転送できます。

アフターサービス前の故障診断

Q&A マニュアルを読んでもわからない事があります。

ホームページ(www.cowonjapan.com)のサポートページで製品別FAQを提供していますので参考にしてください。

ご不明な点はサポートセンターまたはホームページ内の Q&A を利用して、お問い合わせ頂ければ誠意をもって回答させていただきます。

(ホームページ内のQ＆Aのご利用には、会員登録が必要です)

Q&A 電源が入りません。

バッテリが完全に放電した場合は充電後に電源を入れてください。放電状態により通常より長時間充電すると製品に電源が入る場合があります。

製品の動作に異常が見られる場合は、USBケーブルやACアダプタを接続していない状態で本体側面にある [RESET] を押して下さい。参考までに [RESET] は電源を遮断する役割をするだけで製品にはまったく影響を与えません。

Q&A ボタンが作動しません。

電源スイッチが [HOLD] 位置になっていないか確認して下さい。

Q&A 何の音も聞こえません。

ボリュームが「0」になっていないか確認して下さい。

製品内に音楽ファイルが保存されているか確認して下さい。製品の中に保存されたファイルがない場合は音が出ません。その他にも破損した音楽ファイルの場合、ノイズが出たり音が途切れることがあります。

イヤホンが奥まで接続されているか確認して下さい。イヤホン端子に異物がついている場合、ノイズが発生することがあります。

Q&A 動画を再生できません。

jetAudio VXで変換してからご使用下さい。jetAudio VXで変換を行っていない動画の場合、正常な再生を保証しません。

Q&A FMラジオが聞けません。

iAUDIO F2はFMラジオのための専用アンテナはなく、接続したイヤホンを利用して電波を受信します。したがって、出来るだけイヤホンを長く伸ばして使用して下さい。

場所により電波の受信感度に違いがあります。すべての場所でFMラジオが動作しなければチューナーに問題があるかもしれませんので、この場合はサポートセンターへ点検を依頼して下さい。

Q&A 録音したらノイズが聞こえます。

iAUDIO F2は小型内蔵マイクを使用しているモデルです。したがって録音時にノイズが入ることがあり、デジタル機器の特性上、録音された音が不鮮明な場合があります。

Q&A 文字化けして表示されます。

［設定］-［画面］-［言語］　を再設定して、［設定］-［画面］-［タイトル］　をファイル名で利用して下さい。
その後も同じ症状がでる場合、追加説明にある【工場出荷状態に初期化】を参考にして製品を初期化した後に使用して下さい。
iAUDIO F2はハングルWindowsを基準に開発された機器ですので、一部の特殊フォント/言語の文字が化けて表示されることがあります。

Q&A パソコンが製品を認識しません。

パソコンと接続しても電源が入らない場合、本体側面にあるRESETボタンを押して下さい。
Windows 98SEでは別途、ドライバをインストールして下さい。【Windows 98SEドライバインストール】を参考にして下さい。
接続が度々途切れて不安定な場合、iAUDIO F2をUSBハブ等を経由せずにパソコン本体背面のUSB端子に直接接続して下さい。IAUDIO F2はUSB電源を使用するため、安定した電源が供給されないと接続エラーが起こる事があります。

Q&A JetShellで「iAUDIOが見つかりません」と表示されます。

パソコンに正常に接続されているか確認して下さい。パソコンが製品を認識できなければJetShellでも認識されません。
Windows 98SEでは別途、ドライバをインストールして下さい。【Windows 98SEドライバインストール】を参考にして下さい。
パソコンに接続した状態でWindows エクスプローラを実行します。正常に「iAUDIO」が認識されたのか確認した後にJetShellを使用して下さい。
JetShellの［オプション］-［デバイスの選択］でiAUDIOモデル名が正しく選択されているか確認して下さい。

Q&A 容量が少なく表示されます。

Windowsで表示される容量表記方法とメモリおよびハードディスク製造会社で表記する方法に違いがあることがあります。
iAUDIO F2ではシステム領域として使用される部分があります。したがって実際に使用できる容量は、正常な動作に必要なシステム領域を除いた値となり、わずかですが少なくなります。

Q&A 容量が一杯になると動作しません。

iAUDIO F2の中には設定ファイルの保存とシステム領域に使用する部分があります。したがって約5MB程度の空き容量を残して使用して下さい。